

薬学部の設置によって育成される薬剤師等の想定(案)

図表1 新設薬学部の入学定員と卒業時の県内勤務薬剤師数の試算

県内出身学生入学者数:20人

入学定員:100人

(単位:人)

	入学者数	卒業者数	進路別内訳			
			薬剤師	進路別内訳		その他
				県内勤務	県外勤務	
県内出身学生	20	20	18	17	1	2
県外出身学生	80	80	72	4	68	8
合計	100	100	90	21	69	10

入学定員:80人

(単位:人)

	入学者数	卒業者数	進路別内訳			
			薬剤師	進路別内訳		その他
				県内勤務	県外勤務	
県内出身学生	20	20	18	17	1	2
県外出身学生	60	60	54	3	51	6
合計	80	80	72	20	52	8

入学定員:70人

(単位:人)

	入学者数	卒業者数	進路別内訳			
			薬剤師	進路別内訳		その他
				県内勤務	県外勤務	
県内出身学生	20	20	18	17	1	2
県外出身学生	50	50	45	3	42	5
合計	70	70	63	20	43	7

入学定員:50人

(単位:人)

	入学者数	卒業者数	進路別内訳			
			薬剤師	進路別内訳		その他
				県内勤務	県外勤務	
県内出身学生	20	20	18	17	1	2
県外出身学生	35	35	32	2	30	3
合計	55	55	50	19	31	5

(注1) 県内出身学生の入学者には、地域枠(県内出身学生優先枠)を含む想定。

(注2) 卒業者の9割が薬剤師となると想定。

(注3) 薬剤師となる卒業生のうち、県内出身学生の9割、県外出身学生の0.5割が沖縄県内勤務と想定。

県内出身学生入学者数:25人

入学定員:100人

(単位:人)

	入学者数	卒業生数	進路別内訳			
			薬剤師	進路別内訳		その他
				県内勤務	県外勤務	
県内出身学生	25	25	23	21	2	2
県外出身学生	75	75	68	4	64	7
合計	100	100	91	25	66	9

入学定員:80人

(単位:人)

	入学者数	卒業生数	進路別内訳			
			薬剤師	進路別内訳		その他
				県内勤務	県外勤務	
県内出身学生	25	25	23	21	2	2
県外出身学生	55	55	50	3	47	5
合計	80	80	73	24	49	7

入学定員:70人

(単位:人)

	入学者数	卒業生数	進路別内訳			
			薬剤師	進路別内訳		その他
				県内勤務	県外勤務	
県内出身学生	25	25	23	21	2	2
県外出身学生	45	45	41	3	38	4
合計	70	70	64	24	40	6

入学定員:50人

(単位:人)

	入学者数	卒業生数	進路別内訳			
			薬剤師	進路別内訳		その他
				県内勤務	県外勤務	
県内出身学生	25	25	23	21	2	2
県外出身学生	25	25	23	2	21	2
合計	50	50	46	23	23	4

(注1) 県内出身学生の入学者には、地域枠(県内出身学生優先枠)を含む想定。

(注2) 卒業生の9割が薬剤師となると想定。

(注3) 薬剤師となる卒業生のうち、県内出身学生の9割、県外出身学生の0.5割が沖縄県内勤務と想定。

県内出身学生入学者数: 30人

入学定員: 100人

(単位:人)

	入学者数	卒業生数	進路別内訳			
			薬剤師	進路別内訳		その他
				県内勤務	県外勤務	
県内出身学生	30	30	27	25	2	3
県外出身学生	70	70	63	4	59	7
合計	100	100	90	29	61	10

入学定員: 80人

(単位:人)

	入学者数	卒業生数	進路別内訳			
			薬剤師	進路別内訳		その他
				県内勤務	県外勤務	
県内出身学生	30	30	27	25	2	3
県外出身学生	50	50	45	3	42	5
合計	80	80	72	28	44	8

入学定員: 70人

(単位:人)

	入学者数	卒業生数	進路別内訳			
			薬剤師	進路別内訳		その他
				県内勤務	県外勤務	
県内出身学生	30	30	27	25	2	3
県外出身学生	40	40	36	2	34	4
合計	70	70	63	27	36	7

入学定員: 50人

(単位:人)

	入学者数	卒業生数	進路別内訳			
			薬剤師	進路別内訳		その他
				県内勤務	県外勤務	
県内出身学生	30	30	27	25	2	3
県外出身学生	20	20	18	1	17	2
合計	50	50	45	26	19	5

(注1) 県内出身学生の入学者には、地域枠(県内出身学生優先枠)を含む想定。

(注2) 卒業生の9割が薬剤師となると想定。

(注3) 薬剤師となる卒業生のうち、県内出身学生の9割、県外出身学生の0.5割が沖縄県内勤務と想定。

(参考) 琉球大学医学部医学科における「地域枠」「離島・北部枠」制度

(1) 概要

選抜された入学者に対して、沖縄県が学費、生活費など修学に必要な資金を貸し付ける制度。大学卒業後に、沖縄県地域枠キャリア形成プログラムのもとで、原則として琉球大学病院にて臨床研修医として勤務し、その後は沖縄県知事が指定する医療機関で、医師として臨床研修を合わせて9～13年間勤務すること（うち離島・北部の医療機関に4年間で、奨学金貸与額の全額の返還が免除される。

(2) 募集人員

令和5年度の募集人員は、「地域枠」（出願要件イを除く）14名程度、「北部・離島枠」3名程度。

(3) 出願要件

ア 沖縄県に居住し、沖縄県の高等学校等を令和3年4月1日以降に卒業した者及び令和5年3月に卒業見込みの者で学校長から推薦を受けた者

イ 沖縄県に居住し、沖縄県内離島地域（石垣市、宮古島市、久米島町）ならびに沖縄県本島北部地域（大宜味村、今帰仁村、本部町、名護市、宜野座村）に所在する高等学校等を卒業又は卒業見込みの者

ウ 沖縄県で将来の医療を担う強い意志があり、かつ沖縄県が貸与する奨学金の受給を希望する者

エ 人物、学力ともに優れ、健康で、高等学校等における全体の評定平均値が4.3以上の者
オ 合格した場合は、入学することを確約できる者

(資料) 沖縄県地域医療支援センター「令和5年度 募集要項」